



## 病院の概要

- 病床数 733 床
- 医師数（研修医を除く）194 名（うち指導医数 100 名）
- 研修医数 1 年目 17 名 2 年目 18 名
- 研修医の主な出身大学

旭川医科大学・札幌医科大学・弘前大学・秋田大学・山形大学・東北大学・福島県立医科大学・東京医科歯科大学・東京医科大学・東京女子医科大学・日本医科大学・東京慈恵会医科大学・東邦大学・帝京大学・順天堂大学・杏林大学・日本大学・昭和大学・埼玉医科大学・獨協医科大学・聖マリアンナ医科大学・北里大学・東海大学・群馬大学・山梨大学・筑波大学・新潟大学・金沢大学・福井大学・浜松医科大学・名古屋市立大学・信州大学・藤田保健衛生大学・近畿大学・滋賀医科大学・川崎医科大学・島根大学・徳島大学・産業医科大学・熊本大学・佐賀大学・宮崎大学・鹿児島大学・琉球大学・漢陽大学・Shahid Beheshti University



- 診療科 内科 循環器内科 消化器内科 脳神経内科 糖尿病内科 膠原病内科 腎臓内科 血液内科 呼吸器内科 肝臓内科 アレルギー疾患内科 感染症内科 腫瘍内科 緩和ケア内科 心療内科 小児科 産婦人科 外科 整形外科 脳神経外科 心臓血管外科 消化器外科 肝臓外科 乳腺外科 呼吸器外科 気管食道外科 肛門外科 内視鏡外科 小児外科 泌尿器科 耳鼻いんこう科 頭頸部外科 眼科 形成外科 美容外科 皮膚科 麻酔科 救急科 放射線診断科 放射線治療科 病理診断科 臨床検査科 リハビリテーション科 歯科口腔外科 臨床遺伝科
- 1 日平均外来患者数 1535.9 名 ● 1 日平均入院患者数 613 名
- 主な認定施設 埼玉県がん診療指定病院、日本内科学会認定医教育病院、日本消化器病学会専門医制度認定施設、日本外科学会専門医制度修練施設、日本救急医学会救急科専門医指定施設、卒後臨床研修評価機構認定病院、他

## 研修プログラムの特色

16 か月の必修期間と自分の将来への展望を踏まえ、8 ヶ月の選択期間を研修医の意向を尊重しながら、指導医と相談の上組むことができます。市中病院にあつて豊富な診療科を有する当院の特徴を生かしてもらいたいと思います。

救急総合診療科研修・救急科研修 & 当直研修・地域医療研修を 3 本の柱とし、外科・麻酔科・産婦人科・小児科を必修科目としています。地域医療研修を北海道、鹿児島県、沖縄県、岡山県、香川県などのへき地・離島や宮城県の一部で行い、当該地域での医療ニーズを把握、訪問診療などの地域に密着した医療、医療資源の少ない地域での医療の特徴を学ぶとともに、異なる環境での研修を通じて医師としての自信を深めるチャンスとなります。また、研修期間を通じ、患者及び医療従事者の双方に安全な医療を遂行できる能力、すなわち医療事故の未然防止及び事後の対応方法を理解し、さらに病院感染防止対策について理解し、マニュアルに従って行動できる能力を身につけていきます。



## プログラム例 上尾中央総合病院臨床研修プログラム（募集定員 19 人）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
1 年目 ▶	内科系（内科＜糖尿病・血液＞・呼吸器内科・消化器内科・循環器内科・脳神経内科・腎臓内科・腫瘍内科・総合診療科）から 2 科以上選択※総合診療科は 3 ヶ月必修						救急部門			麻酔科		産婦人科
2 年目 ▶	外科		小児科	地域医療	選択期間							

必修：内科系 6 ヶ月、救急科 3 ヶ月、麻酔科 2 ヶ月、外科 2 ヶ月、小児科 1 ヶ月、産婦人科 1 ヶ月、地域医療 1 ヶ月

選択：8 ヶ月（内科＜糖尿病・血液＞、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、脳神経内科、腎臓内科、腫瘍内科、総合診療科、小児科、外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、心臓血管外科、皮膚科、泌尿器科、眼科、産婦人科、耳鼻いんこう科、麻酔科、放射線診断科、臨床検査科、救急科、精神科、病理診断科、地域研修）

※当院で決めた必須科目の外科については、1 か月は外科を必須として 1 か月については外科系（外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、心臓血管外科、耳鼻いんこう科）の中から選択できることとする。※地域研修は必修 1 ヶ月、選択 1 ヶ月まで（合計 2 ヶ月選択可能）※精神科研修は埼玉県立精神医療センターで実施する。

## 研修医の処遇

- 給与 ▶ 1 年次：40 万円 / 月 2 年次：43 万円 / 月
- 手当 ▶ 当直手当、日勤手当
- 保険 ▶ 健康保険、雇用保険、労災保険、厚生年金、厚生年金基金あり
- 勤務時間 ▶ 9 時～17 時 30 分
- 当直 ▶ あり（4 回程度 / 月）
- 休暇 ▶ 有給休暇（入職 3 カ月後：3 日 6 カ月後：7 日 初年度：10 日支給）その他（特別休暇・年末年始・産前産後休業・育児休業・介護休業）
- 宿舎 ▶ あり：当院規定（5 万円を上限として、家賃半分を支給する※上尾市内内在住限定）
- その他 ▶ 処遇：常勤、健康診断：年 2 回、医師賠償責任保険：病院において加入・個人加入は任意、学会・研究会等への参加：可、参加費用支給有 医療費見舞金制度・24 時間保育園・保養所（軽井沢 / 那須 / 山中湖）・院内旅行・その他

## 主な臨床研修協力病院・協力施設

- ・埼玉県立精神医療センター
- ・医療法人徳洲会 帯広徳洲会病院
- ・医療法人徳洲会 徳之島徳洲会病院
- ・特定医療法人沖縄徳洲会 宮古島徳洲会病院
- ・特定医療法人沖縄徳洲会 石垣島徳洲会病院
- ・気仙沼市立本吉病院
- ・社会医療法人緑社会 金田病院
- ・小豆島中央病院
- ・医療法人 哲西会 哲西町診療所
- ・矢掛町国民健康保険病院 他

## 当院の魅力

## 『自立』『責任』『信頼』

当院の初期臨床研修のキーワードです。医師としての基盤となる3つの資質を身につけ、伸ばすことを約束するプログラムです。

『自立』 救急外来では年間約9,000台の救急車を研修医たちがファーストタッチで捌きます。指導医は裏方の役目に徹し、研修医がまさしく自分自身の力で診療する能力を養います。

『責任』 総合診療科研修ではほぼ主治医に匹敵する仕事を任せられます。治療方針の決定やICも研修医の仕事です。甘えは許されません。

『信頼』 地域医療研修では自ら外来枠をもちます。患者さんひとりひとりと密接な関係性を構築することが求められます。

- ◎ 「ほどほど」「そこそこ」という研修を求めています。「徹底的に」学んでください。サポートもしっかり行います。臨床研修管理委員会とは別に臨床研修指導者委員会を設置し、5～10年目の若手医師、看護師、メディカルスタッフが研修医ひとりひとりに目を向けて研修の様子をいつも見守っています。



## 研修責任者から

message

3年後、専攻医研修を受けている自分を想像してください。多くの研修医は大学病院に所属し、アルバイト生活を始めます。アルバイト先では当直業務を自分一人で行うことになります。

「指導医」はいません。業務のどんな場面にあっても適切に診療をしていく、救急能力を身につけています。「自信をもってやっています」「上尾での救急に比べたら患者数も重症度も大したことないです」と卒業生たちは口を揃えてこのように話しています。当院に見学に来られる学生さんたちは「研修医の先生、かっこいいですね」と言ってくれます。そう評価されるための環境を準備して皆さんを待っています。



プログラム責任者  
黒沢 祥浩

## 先輩研修医から

message

研修医として上尾中央総合病院で働き始めて2ヶ月が経ちました。当院の初期研修を語る上で欠かせないのは“救急当直”です。初めて当直に入った夜、1人の医師として患者さんの苦痛を取り除く2年生の姿は衝撃でした。その思いとともに自分はもう学生ではなく、一人の医師として患者さんに頼られる存在であると気づかされました。救急当直では研修医がファーストタッチをすべて任せられます。もう2ヶ月経ちましたが当直の度に自分の無力さを思い知らされます。何もできず自分が“医師”を名乗っていることが恥ずかしいと感じたこともありましたが、それでも当直に入るたびに自分が成長できていると感じます。それは一緒に働く上級医の先生、2年生、そして1年目の同期に恵まれているからだだと思います。上級医の先生は時に厳しく、時に優しく指導してくれます。そして2年生はどんなに迷惑をかけても優しく教えてくれます。時々優しくすぎて神様なんじゃないかと思うこともあります。1年後にこんな姿になっているとは想像できませんが、一番身近にいる最高の目標です。いつかこの人達に追いついて追い越したい、そう思わせてくれる存在です。そして同期、北は北海道、南は宮崎まで日本各地から集まった個性豊かな仲間です。一緒にふざけたり、勉強したり、飲みに行ったり、そんな素敵な同期と日々切磋琢磨しながら過ごしています。当直のことばかり書いていますが、病棟の患者さんの管理も任せられます。担当医として患者さんすべてのことを聞かれて落ち着いている時間はありません。そんな毎日をおかげで日々充実しています。モチベーションが下がっている暇はありません。目の前の患者さんのために全力を尽くすだけです。あつという間に2年が過ぎていきそうですが、臨床研修センター長の黒沢先生から言われた“この病院の2年間の研修を乗り越えた暁には、どの病院に行っても恥ずかしくない医師になっていることを約束します。”という言葉に信じています。そしてそれを信じていることが出来る環境がこの病院にはあると感じています。正直この病院の雰囲気は文章だけでは伝えられないです。是非一度この病院に見学に来て肌で感じてください。皆さんにお会いできることを楽しみにしています。



研修医1年目  
今野 雄太

## 女性医師支援コーナー

当院では、女性医師の働きやすい環境を整えるため、以下の規定があり、ひとりひとりの研修医にそれぞれの働きやすい環境を提供できるようにサポートします。

- 妊産婦への配慮 -

【妊娠中】

母体保護の観点から、妊娠中の研修医は原則として当直研修を行わない。ただし、本人より当直以外の時間外勤務勤務の希望があれば臨床研修センター長 および救急総合診療科責任者との面談・調整の上、土曜日の午後や

日祝日の日中等に研修を行っても良いこととする。

【育児中】

育児中の当直は研修医および児の状況を勘案し、臨床研修センター長および救急総合診療科責任者との面談・調整の上、当直研修実施の有無および回数 を決定することとする。

- ・短時間勤務制度
- ・院内保育の設置
- ・当直免除

連絡先

## 上尾中央総合病院

人事課 秘書係（臨床研修担当）

〒362-8588 上尾市柏座 1-10-10

TEL ▶ 048-773-1111（代表） FAX ▶ 048-773-2952

E-mail ▶ ishi\_jinji@ach.or.jp

URL ▶ http://www.ach.or.jp

アクセス ▶ JR 高崎線 上尾駅西口より徒歩 3分

## 病院見学、その他イベント・説明会等の情報

【見学】

ホームページ上の初期臨床研修、見学申し込みはフォームよりお申込みください。

【2019年度・初期臨床研修プログラム 説明会】2019年3月23日(土) 14:00～17:00(予定)

※医学生もご参加いただけますのでお気軽にお問い合わせください。